

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 258

事務事業名	教育・保育施設整備事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	こども未来部		
課名	こども政策課		
課長名	田下 陽一	内線	170
担当者名	寶藏寺 和彦	内線	170

基本目標		人を育むまち
政策	010103	子育てしやすいまちづくり
施策		子育てを支える環境の充実
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	2	児童福祉費	
目	4	児童福祉施設費	
事業コード	040102	教育・保育施設整備事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	おおむら子ども・子育て支援プラン	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	私立認可保育園及び認定こども園		
意図 対象をどのような状態にしたいか	私立保育園等の施設環境の充実を図ることにより、園児等の保育環境の向上及び多様な保育サービスの実現を推進する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	施設の老朽化に伴う施設の改善や、認定こども園への移行等新たな施設機能の充実に対応した私立保育園の施設改修等を支援する。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	保育所等施設整備交付金交付要綱、認定こども園施設整備交付金交付要綱、大村市私立保育所整備補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 私立保育園及び認定こども園の整備施設数	計画値	2	4	2	0	
		実績値	1	3	2		
		達成度	%	50.0%	75.0%	100.0%	
成果指標	① 改修等を行う私立保育園及び認定こども園の定員数	計画値	290	530	220	0	
		実績値	80	410	220		
		達成度	%	27.6%	77.4%	100.0%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	124,175	522,113	197,374	0	48,091	0	0	0
国庫支出金			23,824		32,061			
県支出金	110,378	439,859	148,168					
地方債	11,000	63,800	19,900		12,700			
その他								
一般財源	2,797	18,454	5,482		3,330			
② 人件費(千円)	1,649	1,889	886	0	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.25	0.12					
時間外勤務(時間)	30		20					
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	125,824	524,002	198,260	0				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	老朽化及び保育需要の増加に対応するため新城保育園の増改築及び大規模改修工事と認定こども園わんぱくはうすの施設整備を支援し、園児等が安全かつ快適に過ごせる保育環境に寄与した。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	私立保育園等の施設環境の充実を図ることにより、多様なニーズに対応した事業の充実や保育サービスの向上が図られるため、今後も計画的に必要な施設整備を推進する。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	保育環境の向上を図るため、市は民間施設の整備について積極的に取り組む必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	親の働き方に関わらず、園児等に安全・安心な保育サービス等を提供するため、私立保育園等の施設環境の充実を図ることの成果は高い。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内の私立保育園等が児童福祉の推進に果たす役割は大きく、各施設の保育環境を整備することで、利用者の利便性の向上、園児等に安全・安心な保育サービス等を提供する環境を確保できる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	保育所等施設整備交付金及び認定こども園施設整備交付金を活用し、効率的な事業実施を行う。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	国の補助基準に基づき補助率を設定しているため、見直しの余地はない。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	おおむら子ども・子育て支援プランに基づき、計画的な施設整備を進めていく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	保育施設等の計画的な整備とともに定員の見直しを進めることにより、待機児童の発生を防止するとともに、安全かつ良好な保育環境が確保される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。